

近畿支部主催シンポジウム

「上町断層帯による想定地震動に対する建物の耐震設計を考える」

大阪は厚い堆積盆地の上に位置しており、直下に上町断層帯という、全国でも有数の規模・高発生確率の断層を抱えている。近年になって複数の機関により実施されている強震動予測により、上町断層帯による地震が発生した際には、長周期・大振幅のパルス地震動が大阪の町を襲う可能性が高いことが分かってきた。本シンポジウムでは、パルス地震動の成因・特徴・建物応答について考え、断層近傍における建物の耐震設計を今後どのように考えていくべきかについて議論をすすめる。

主催 : 近畿支部 耐震構造研究部会

協賛 : 日本建築構造技術者協会関西支部

日時 : 2009年1月8日(木) 13:00~17:00

会場 : [建設交流館](#) グリーンホール(8階)
(大阪市西区立売堀2-1-2、TEL06-6543-2551)

■プログラム

全体司会	: 前野敏元(竹中工務店)
主旨説明	: 林 康弘(京都大学)
長周期パルス波が卓越する条件	: 香川敬生(鳥取大学)
上町断層により生成される長周期パルス地震動の特性	: 野畑有秀(大林組)
上町断層帯の地震を想定した強震動予測	: 川辺秀憲(京都大学)
想定地震動の特性と建物応答	: 大西良広(地域 地盤 環境 研究所)
想定地震動に対する部材レベルの応答	: 吹田啓一郎(京都大学)
活断層に対する入力地震動想定に関する留意事項	: 壇 一男(清水建設)
パネルディスカッション	: (司会・釜江克宏(京都大学))
まとめ	: 藤谷秀雄(神戸大学)

定員 : 200名 (当日先着順)

参加費(資料代含む) : 主催・協賛団体 会員・学生 1,000円、その他 2,000円

問合せ : 近畿支部、TEL06-6443-0538、FAX06-6443-3144

E-mail : aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp